

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市山手町1丁目計画	階数	地上5F
建設地	大阪府吹田市山手町一丁目	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、法22	平均居住人員	116 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2020年2月8日
敷地面積	1,702 m ²	作成者	高畝 直希
建築面積	764 m ²	確認日	2020年2月8日
延床面積	2,752 m ²	確認者	高畝 直希



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	100%
③上記+②以外の	100%
④上記+	100%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	3.0
温熱環境	1.9
光・視環境	2.8
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	2.2
耐用性	2.9
対応性	2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.2

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	1.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.0
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
全ての階にバルコニー(庇)有。全ての窓にサッシ設置。 全ての材料をF☆☆☆☆を採用する。 住戸については居室面積の1/8以上開閉可能な窓を設置。	1-3階の階高を2.9m以上とした。	緑地を敷地内に多く配置した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物に対して適宜に断熱材を施工する。	躯体と仕上を容易に分けることができる。 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用を3品目とした。 ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0155

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)吹田市山手町1丁目計画					
		建設地	大阪府吹田市山手町					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
①	CO2削減		★★★★★			3		
②	みどり・ヒート アイランド対策		★★★★★			2		
③	建物の断熱性		★★★★★			3		
④	エネルギー削減		★★★★★			2		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				1.5	2	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								